

## 販売名

パッケージなどに表示される、剤形までを含めた個々の製品の名称です。

2017年4月改訂

使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

## 薬効名

その医薬品の薬効や性質などを示しています。

痔の痛み・出血・はれ・かゆみに

# ボラギノール<sup>®</sup>A 注入軟膏

痔疾用外用薬

第2類医薬品

## 特徴

- 4種の成分がはたらいて、痔による痛み・出血・はれ・かゆみにすぐれた効果を発揮します。
  - プレドニゾン酢酸エステルが出血、はれ、かゆみをおさえ、リドカインが痛み、かゆみをしずめます。
  - アラントインが傷の治りをたすけ組織を修復するとともに、ビタミンE酢酸エステルが血液循環を改善し、痔の症状の緩和をたすけます。

プレドニゾン酢酸エステル  
抗炎症作用

+

リドカイン  
鎮痛・鎮痒作用

+

アラントイン  
組織修復作用

+

ビタミンE酢酸エステル  
血液循環改善作用

↓

痔の症状を改善  
(痛み・出血・はれ・かゆみに)

- 肛門内部・外部の痔に使用できる携帯に便利な痔疾用薬です。
  - 患部や薬剤に直接手を触れず衛生的に注入できます。
- 刺激が少なく、なめらかですべりのよい油脂性基剤が傷ついた患部を保護します。
  - 患部を傷つけないように、容器先端(ノズル)を丸くしています。
  - 白色~わずかに黄みをおびた白色の軟膏です。

## 製品の特徴

医薬品を使用する人に、その製品の概要をわかりやすく説明しています。効能・効果、用法・用量または成分・分量等から見た特徴が記載されることがあります。

## 使用上の注意

### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

- 次の人は使用しないこと
  - (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2) 患部が化膿している人。
- 長期連用しないこと

### 相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
  - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
その他	刺激感、化膿

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

- 10日間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

## 効能

いぼ痔・きれ痔(さけ痔)の痛み・出血・はれ・かゆみの緩和

## 効能または効果

この薬が適応する症状、用途などが示されています。市販薬は、この「効能・効果」に適合する人に用いるようになっています。自分の症状にあてはまるか、よく確認してから使うようにしましょう。

## 区分

市販薬はそれぞれリスクの程度に応じて3つの区分に分類されており、とくにリスクが高いものは「第一類医薬品」、リスクが比較的高いものは「第二類医薬品」、リスクが比較的低いものは「第三類医薬品」と分類されています。

それらのリスク区分を明示するため、市販薬の添付文書や外箱にもそれぞれ「第1類医薬品」「第2類医薬品」「第3類医薬品」のリスク区分が表示されています。

ちなみに、第2類医薬品の中には、数字の表示がやのように○や□で囲まれているものがありますが、これは「指定第2類医薬品」といいます。「指定第2類医薬品」は、第2類医薬品の中でも、相互作用や特定の方(小児、妊婦、高齢者など)にご注意いただきたい禁忌(してはいけない)項目が添付文書に含まれているものです。添付文書を十分に読んで正しく使いましょう。

痔の外用薬では、抗炎症成分としてヒドロコルチゾン酢酸エステルやプレドニゾン酢酸エステルといったステロイド成分を配合している場合に指定第2類医薬品となります。

ステロイド成分については、当サイト『市販薬の選び方・使い方』内「痔の市販薬の成分」をご覧ください。

## 使用上の注意

「してはいけないこと」「相談すること」「その他の注意」など、適正使用のために重要と考えられる項目が記載されています。守らないと、時として重篤な副作用などを引き起こすことがあるため、自分に当てはまるかどうか、使用制限などをよく確認しておくようにしましょう。

### してはいけないこと

使用に関する制限事項が記載されています。

### 相談すること

使用する前、あるいは使用後に薬剤師等に相談の必要がある人や、症状が記載されています。